

令和 8 年度 東京都立小山台高等学校

推薦に基づく選抜

小 論 文

注 意

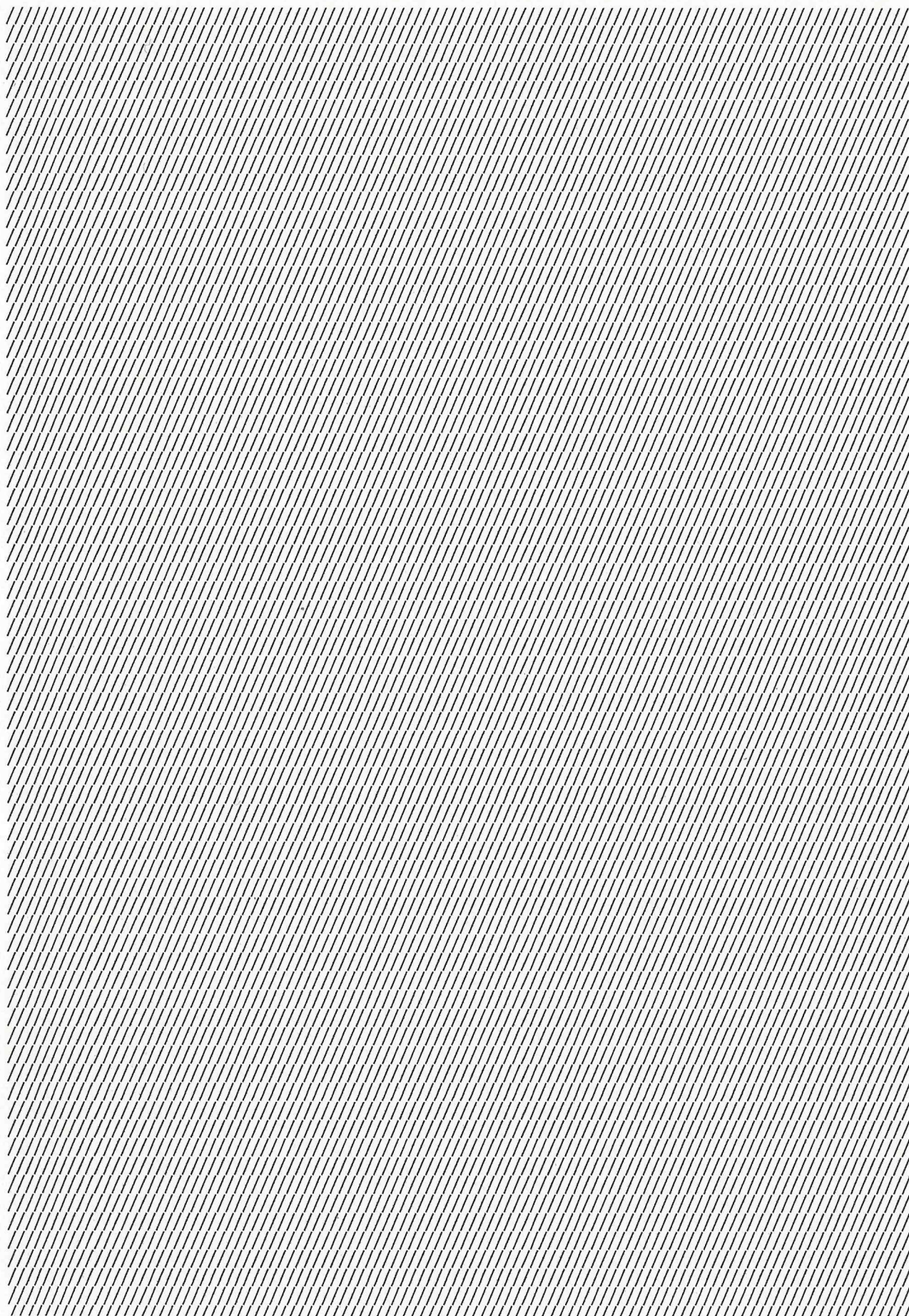
- 1 問題は

1

 と

2

 で、4 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は **50 分**で、終わりは**午後 0 時 30 分**です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出**しなさい。
- 5 書き出しや改行の際の空欄， 。（句点）や 、（読点）や「」（かぎかっこ）などもそれぞれ 1 字と数えなさい。
- 6 解答用紙の決められた欄からは**み出さないように書き**なさい。
- 7 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 8 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。



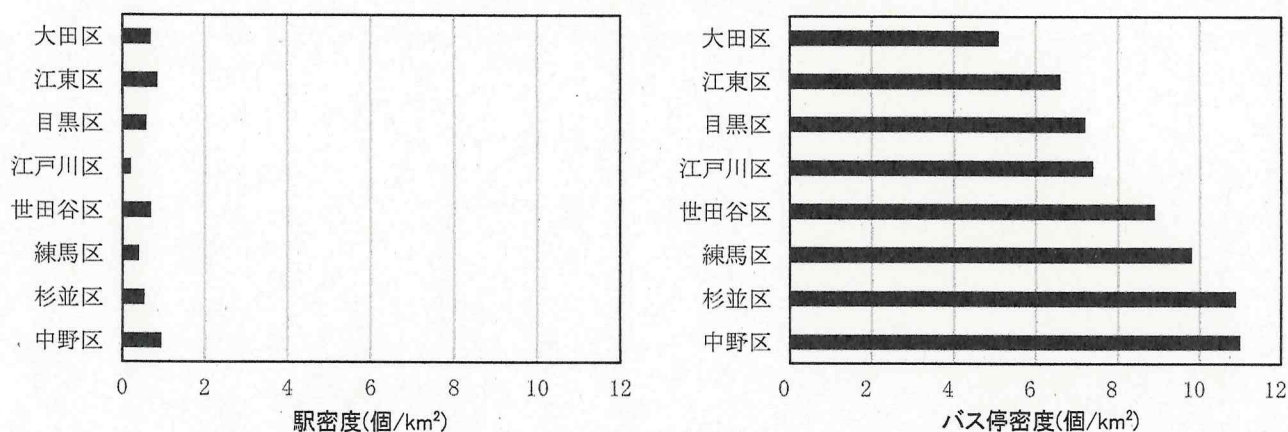
1

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。なお、*印の付いている語句には、後に〔注〕がある。

中学生の太郎さんは、社会科の授業で自動車や路線バス、鉄道などの既存交通手段*について学んだ際に、様々な課題があることを知った。交通について興味をもった太郎さんは、先生に相談した。先生から紹介された文献をもとに調べ、【資料1】と【資料2】にまとめた。なお、【資料2】は太郎さんが途中まで作成したものであり、A・B・Cには既存交通手段のいずれかが入る。

【資料1】

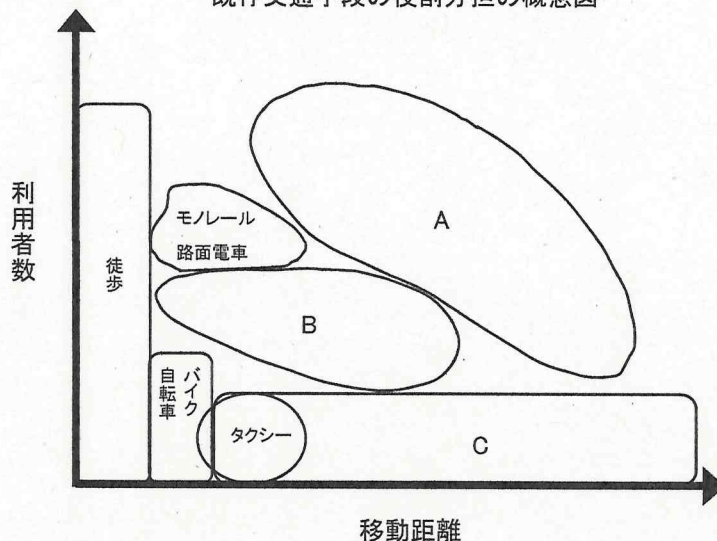
東京都内における駅密度とバス停密度



『都内における自動車利用抑制策の手引き(東京都環境局)』より作成

【資料2】

既存交通手段の役割分担の概念図



〔注〕既存交通手段とは、徒歩、自転車・バイク、自家用車、タクシー、路線バス、鉄道・地下鉄、モノレール・路面電車の7手段のことを指す。

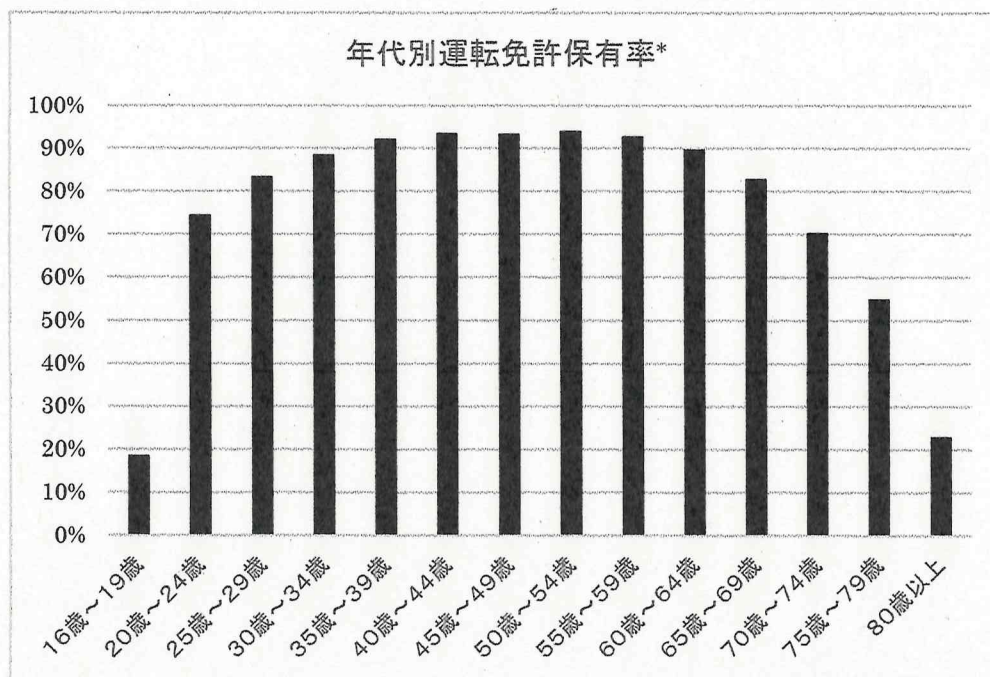
問1 【資料1】、【資料2】をもとに、既存交通手段における路線バスの役割について150字以内でまとめなさい。

さらに興味をもった太郎さんは、既存交通手段の現状や課題について調べ、資料にまとめた。その一部が【資料3】である。

【資料3】

既存交通手段における現状や課題

- (1) 路線バスの利用者は、少子高齢化、人口減少、マイカーの普及等によって長年減少が続いている。
利用者が少ない路線については、バス事業者が撤退して廃止となったり、運行本数が減らされたりしている。
- (2) 東京や大阪などの大都市でも、運転手不足などの理由で路線バスが廃止されたり、運行本数が減ってしまったりしている。
- (3) 路線バスだけでなく、タクシーにおいても運転手が不足している。
- (4) 自家用車利用について、重大事故のニュース報道などから運転する事への不安のため、運転免許を返納する人が増えている。



『令和5年交通安全白書（内閣府）』より作成

〔注〕 普通自動車運転免許を取得できるのは18歳からである。

オートバイ運転免許（原付免許・普通自動二輪免許）を取得できるのは16歳からである。

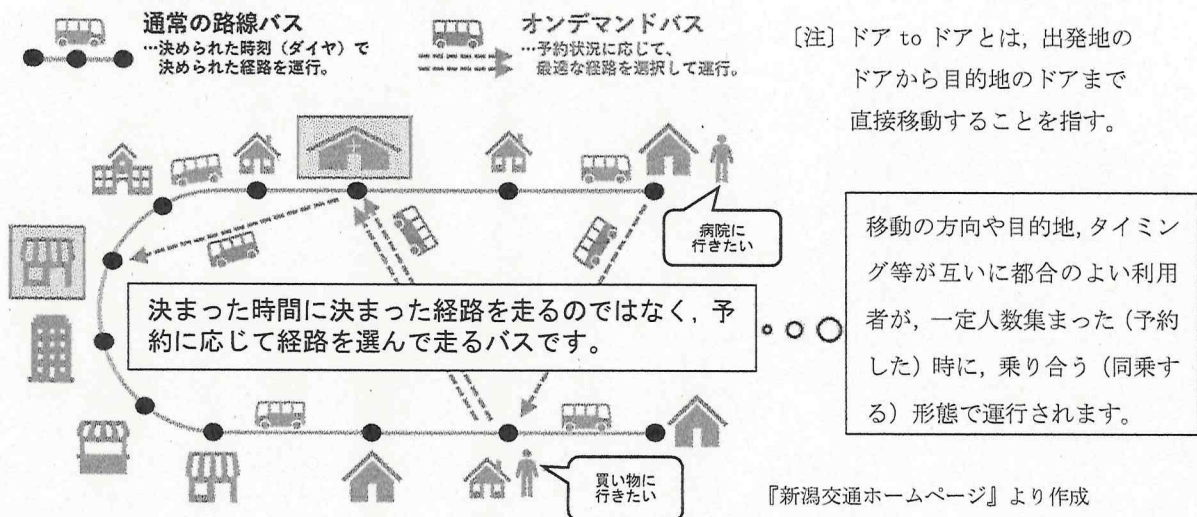
問2 【資料2】、【資料3】から、路線バスやタクシー事業の規模縮小や機能の低下が続くと、どのような人々が困ると考えられるか。そのように考えた理由とともに述べなさい。

太郎さんは、公共交通の課題についての調べ学習を深めていくうちに、路線バス・タクシーの機能を補うための「デマンド型公共交通」があることを知った。太郎さんが「デマンド型公共交通」について調べ、まとめたものが【資料4】である。【資料4】を読んだ上で、【資料5】の「地域内の住民分布パターン」に関する問いに答えなさい。

【資料4】

(1) デマンド型の公共交通の運行形態

- ① 走るルートは定めず、乗り降りする停留所だけを定め、その間を要望に応じて運行するタイプ
- ② 指定エリア内で、ドア to ドア*の運行を行うタイプ



- (2) 使用する車両はワゴン車（ジャンボタクシー）であることが多いが、地域の利用者の人数に応じて普通車タクシーや小型のバス、大型バスを用いても構わない。

(3) 長所

- ① 乗り降りする場所や時間などを、利用者の求めに応じてきめ細かく決めることができる。
- ② 利用者がある程度集まるまでは運行しない、利用者が少ない地域では小型車両で済むなど、路線バスよりもバス会社の運営費がかからない。

(4) 短所

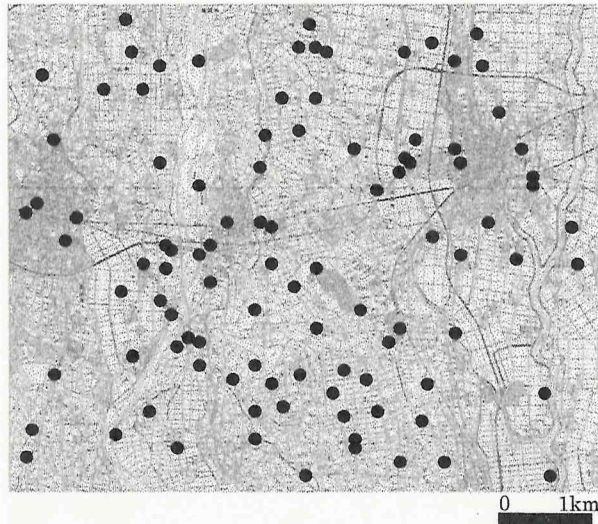
- ① 「乗り合い方式（バス・タクシー）で一定数の利用者が集まるまでは運行できない」、「ルートが決まっていない運行形態であれば、他の利用者の行き先によって自分の目的地までの到着時間が左右される」など、移動時間の正確さが保証されない、移動時間の見通しがたてにくい。
- ② 予約手続き（電話またはオンライン）や会員登録に手間がかかることが、利用しにくさにつながることもある。
- ③ 少人数での利用になる場面が多く、利用料金が路線バスよりも高くなる傾向がある。
- (5) 利用者が極端に少ないときや、乗り合いでの運行が難しい（例えば1便当たりの利用者が1人程度等）ときは、自治体が「従来型タクシー利用」に補助券を交付した方が良い場合もある。

【資料5】

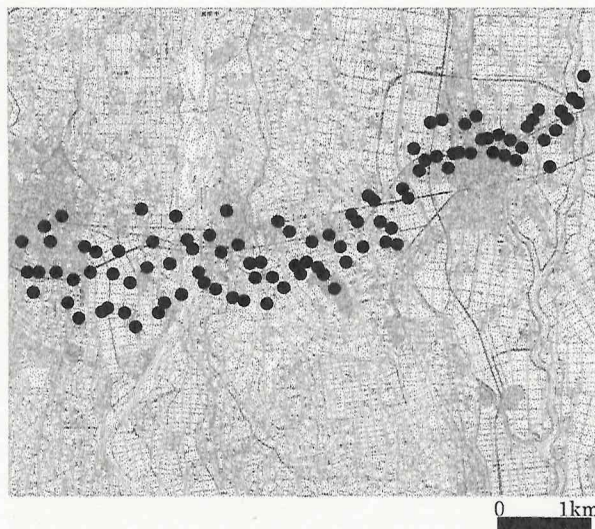
地域内の住民分布パターン

- (1) 下の図Aと図Bは同一面積である（国土地理院の地形図より作成した）。
- (2) 図の中の●は、移動のスタート・ゴール地点になり得る点である。住民の分布と考えてもよい。
- (3) 図A、図Bともに、領域内に100個の●を配置した。●の分布は仮定のものである。
- (4) 領域内の100個の●に対して、その2点を結ぶ全ての移動パターンは、 $100 \times 100 - 100 = 9900$ 通りの移動が考えられる。

図A



図B



問1 領域内での移動に着目した場合、デマンド型公共交通が適しているのは、【資料5】の図Aの地域と図Bの地域のどちらか。解答用紙に記してある図Aか図Bのどちらかを○で囲み、理由を述べなさい。

問2 これまでの内容を踏まえ、今後の日本の公共交通がどうあるべきかについて、「人口密度が高い大都市部」、「人口密度が中程度の地方部」、「人口密度が極端に低い過疎地」の3つに分けて400字程度であなたの考えを述べなさい。

